

## § 光翼教

ここでは光翼教についての詳細な設定を説明する。

---

### ○階級

- ・ 宗教組織として以下のような階級にわけられている。

#### A) 信徒[しんと] (Laity)

- ・ いわゆる一般的な意味での信者。
- ・ 光翼翔術を使えない、もしくは修行中の者を指す。

#### B) 使徒[しと] (Apostle)

- ・ 教義に従い祈りと修練（＝精神訓練）の結果、光翼翔術の基礎を身に着けた者達。
- ・ 信徒の中で「光翼展開」の力を発現できることで使徒として認められるが、その段階に到達できるのは、数ある信徒の中でも0.001%程度である。

#### C) 導師[どうし] (Mentor)

- ・ 光翼翔術を身に着け、経験を積んで様々な異能効果を発揮できるようになった者の中で教団や支部の運営、信徒や使徒の指導や訓練に関わる資格を得た者。
- ・ 光翼翔術の実力だけでなく、経営者や指導者としての実力も要求されるが、支部をまかされたり、独自で教会を建設するなどの許可も得られるようになる。

#### D) 総代[そうだい] (Delegater)

- ・ 一人ではなく光翼教団のトップ集団による総代会議に列席できる者を総代と呼ぶ。
  - ・ その中には創始者であるマイケル・ダニー・ダラスが議長として君臨しているが、基本的には世界各地の支部長がそのメンバーである。
- 

### ○教義「汝が内に光あれ」

- ・ 元々は光翼翔術を習得するための基礎修練を、宗教教義に転用したもの。
- ・ 基本は自らの内側にある光（＝力）を感じ、それを制御することを目指す。
- ・ 自らの内側にある光を感じるために、信徒の段階から以下を実践するように指導される。

- ①常に身綺麗で清潔であること。
- ②常に整理整頓を心掛けること。
- ③自分の所だけでなく、周囲も掃除し、清潔に保つこと。
- ④瞑想によって内なる光の存在を自覚すること

- ・ ここから実際に”内なる光”を制御できるかどうかは、本人の素質にかかっている。光翼翔術の基礎である「光翼展開」を習得するのを第一目標とするが、その際、祈りの言葉として謎の単語の羅列を唱えることを教わる。これは実際には「光翼展開」を発動するための呪文詠唱である。しかし、信徒には内なる光に到達するための「神代の言葉」という説明がされる。
- ・ その教義から白人至上主義ととられがちだが、実際には信徒としてスラム街の住人を吸収しているため、全信徒の人口比率からすると、白人の占める割合は25%程度である。

---

### ○光の軍勢（ライト・レギオン）

- ・光翼教が有する治安維持部隊にして軍事組織。
  - ・普段は光翼教の警備を担当しているが、犯罪者や光翼教の敵対者に対抗するための即応部隊でもある。
  - ・常にフォーマンセル（4人組）の小隊単位で行動し、集団戦に特化した訓練を受けている。そのため連携は完璧であり、それは人数が増えても同じである。
  - ・小隊は一人が小隊長、一人が副小隊長、残りの二人がメンバーという編成。だが、実際には全員が小隊長として行動できる訓練を受けている。小隊が半壊しても、内部の序列に従って速やかに次の小隊長が設定されて行動できる。これにはメンバーが減少した他の小隊と合流して即座に再編成を行うことも含まれる。なお、他小隊との合流でメンバーが4名よりも多くなったとしても問題なく行動できる。
- ・NPC
- ・名前／性別：ミハエル・ジェyson／♂：異能＝光翼翔術
  - ・北米大陸の開発が進むにつれて、都市部に移住したネイティブアメリカンの第三世代にあたる青年。
  - ・借金をしながら大学までは出たものの、就職が難航しているところで光翼教と出会う。
  - ・信徒の中では歴代最短と言われる約1か月で光翼展開を成功させた記録を持つ。
  - ・元来、認めれるとさらに努力して伸びるといふ勤勉な性格であり、それが功を奏して、光の軍勢の小隊長に任命されることになった。
  - ・光翼翔術の使い手としては、すでにいくつかの上位の術も発動できるようになっており、光の軍勢の小隊長の中でも頭一つ抜きん出た才能を発揮している。
- 

### ○墮天使部隊（フォーレンエンジェルズ）

- ・白以外の色の翼を発現した者の中から、特に優秀な者だけをマインドコントロールすることで統制した影の戦闘部隊。
  - ・「光の軍勢」の対になる存在で、その役割は暗殺、誘拐、テロ、破壊活動といった非合法活動である。
  - ・彼ら／彼女らは、光翼教の一部の幹部達の直轄部隊として運用されており、幹部達の欲望を満たすためにあらゆる犯罪と非合法活動に従事する。その活動の中には、光翼教に出資してくれる企業のライバル会社を壊滅させるということまで入っている。
  - ・「光の軍勢」と同じくフォーマンセルでの活動が主体だが、必ずコマンダーと呼ばれる指揮官が同行する。メンバーはコマンダーの命令に絶対服従で、殺人などに一切の忌避感を持たず、命じられたままを実行するようになっている。
  - ・墮天使部隊は、公式には存在しないことになっている。
- ・NPC
- ・名前／性別：マイヤ・リー／♀：異能＝光翼翔術
  - ・フロリダ出身のアジア系アメリカ人。
  - ・ある時、テロとそれに伴って発生した暴動に巻き込まれ、片目と片腕を失う重傷を負った。
  - ・テロと暴動により救助もされないまま放置されていたが、光翼教の光の軍勢の一団が到着し、救助された。その後、人生に絶望していたが、たまたま近くに来ていた光翼教の総代の一人から光翼翔術による治療を受け、目と腕を取り戻す。
  - ・以後、光翼教に入信し、光翼展開も発動できるようになったが、発現した翼は黒に近い灰色だった。白い翼でなかったことに愕然としたが、再び自分を治してくれた総代の目に止まり、彼の私設部隊に入ることになった。
  - ・彼女は光翼教と自分を治してくれた総代に心酔しており、傍目には狂信者の目をしているように見える。
  - ・光翼翔術の使い手としては中堅クラスだが、墮天使部隊の中では上から数えた方が早いほどの実力者である。
-